

「CAD/CAMを用いたインプラント技工の要点について」

講師：木下 浩志先生（大阪歯科大学歯科技工士専門学校）

日時：平成26年9月12～14日（日）

場所：東京国際フォーラム



（協和デンタル・ラボラトリー）木村 健二（千葉県）

第44回日本口腔インプラント学会学術大会が2014年9月12日～14日の日程で開催された。

今回私は専門歯科技工士教育講座の座長を務める機会に恵まれた。

当講座は大阪歯科大学歯科技工士専門学校の木下浩志先生を講師に迎え、CAD/CAMを用いたインプラント技工の要点についてご講義をいただいた。

講義はインプラント技工に携わる者にとって必要不可欠な内容で、参加者が熱心に耳を傾ける姿が印象的であった。

弊社からは20名の技工士が参加し、各自多くの学びを得たようである。日々の臨床に生かしてもらいたい。

また、今回弊社は展示ブースに出展し、近年注目されているオペ用サージカルガイドとオーバーデン

チャーの展示を行った。多くの先生方のお話を伺う機会が持て、両分野における注目度の高さを改めて認識した。

歯科医師、歯科衛生士の発表は以前と変わらず活発に行われていたが、今学術大会においては歯科技工士の一般口演、ポスターセッション参加が一件も無かった。昨今、歯科技工士求人数、養成専門学校数及び定員が減ってきている現状も関係しているのだろうか。

歯科技工業界を盛り上げるべく、発表できる機会があればぜひ積極的に参加してほしいと願っている。

必ず多くの学びに出会うことができ、次のステップへ踏み出す足掛かりとなるだろう。

今学会で得た学びを活かし、より信頼されるインプラント治療を目指して今後も研鑽を積む所存である。

